一人の力は小さくとも会員が力をあわせて婦人の立場の充実をめざす

横越村連合婦人会

このたび、平成四年度横越村連合婦人会（会長　佐久間順）及び交通安全母の会、安全協会婦人部の総会が、中央公民館で開催されました。

佐久間会長から、昨年十月二十七日に連合婦人会四十周年記念式典を会員の皆様の協力で、力強く新しい頁を重ねることができたこと。会員一品運動をやり、村の福祉に役立ててということで三万円寄附したこと。下越婦人会館の修理費として、五万円寄附したことなどの協力に対して、会員の皆さんにお礼を述べ、これからも交通安全運動の積極的参加や、一人の力は小さくとも、会員ひとり一人が力を合わせ、常に組織の一員であるという自覚に立って、みんなで、今日よりも明日に進み、婦人の立場をより充実したものにするために頑張ろうではありませんかという挨拶がありました。

挨拶をする佐久間順会長

その後、来賓の祝辞があり安全協会婦人部や永年勤続役員功労者の表彰（別掲）がありました。

また、「私の歩んだ道―食べものづくりの心」というテーマで㈲加島屋の代表取締役加藤長作さんの記念講演があり、ご自分の苦労話をユーモアたっぷりに話され、ときには笑い、ときには私たちが失いかけている食文化についても考えさせられる有意義な内容でした。

講演後、午後から議事をやり、レクリエーションで楽しみました。

○交通安全関係表彰
緑十字銅彰（㈶全日本交通安全協会）
二野宮　キミ（沢海）
新潟南地区交通安全協会表彰
五十嵐　タイ子（沢海）
五十嵐　コシミ（横越）
佐藤　チヨ（横越）
○連合婦人会永年勤続
田中　ミドリ（横越）
齋藤　トミ子（〃）
伊嶋　キヨ（〃）
五十嵐　コシミ（〃）
水上　悦子（〃）

第33回 新潟県児童・生徒絵画・版画コンクール結果

○特選入賞者
〈絵画部門〉
一年　遠藤千恵
〃　五十嵐麻実
三年　阿部夏希
四年　石塚一幸
〈版画部門〉
一年　中村和也
六年　中川諭
〃　本田智美

学校開放夜間管理人募集

○職　　種　中学校体育館夜間管理・ナイター施設管理
○募集人員　1名
○勤務時間　午後6時45分～午後9時45分
○時　　給　730円
○申し込み先　横越村中央公民館内社会教育課（TEL385-2043）

横越社交ダンス愛好会初心者募集

横越社交ダンス愛好会では、毎週水曜日、中央公民館講堂で夜7時30分から9時30分までの2時間、社交ダンスの講習を行っています。

現在、会員33名（男性13名、女性20名）新家先生夫婦を講師に招いて、男女別に講師が指導講習会を行っています。

楽しい社交ダンスを習って夫婦で踊ってみませんか。

〈入会案内〉

普段あまり運動する機会のない方、美容と健康のために楽しくダンスを習って若返ってみませんか。

・初心者歓迎（初歩より指導）
・男女別や年令は問いません。
・村外者も歓迎します。

○会費　月　額　1,500円
　　入会金　1,000円
○締切　4月15日㈭迄
○問い合わせ・申し込み先
　小木光興宅
　（TEL385-3187）へ

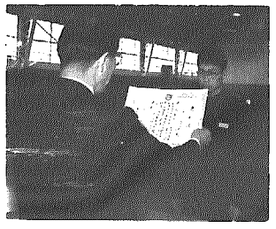
文芸欄

（公募作品）

短歌

何いふと交はすことばも待たぬまま心和ぎおり　（木津）佐藤安衛
朝の食卓
嫁かぬ娘を嘆きし友にさりげなくテレビを消せり　（横越）佐藤ユリ
妃の報道
淡き陽のさしこむ庭は雪とけて誰が投げしか　（沢海）渋谷ウタ
野球のボール
春陽さす枯草かげにひっそりと寄り添う如く　（沢海）清水雅美
蕗のつのぐむ
逆えば虚しさ残る煩悩を説して朝の　（亀田町）白柏紗妥
窓開けはなつ
いくばくの時が吾れには残れるか孫と虚むれつ　（沢海）高橋一夫
ふと思い見る
聖誕の祝事近しブテックにサーモンピンクの　（横越）建部すま
娘の服選ぶ
あでやかなる衣装で踊るボランテア妻は見ずして　（横越）田村清次郎
眠りこけいる
凍み透る飢餓もあるべしふる雪に雀群れ寄る　（藤山）田村文彦
剱殻の山
湯の宿の松の緑が池に映え合間を鯉の　（横越）長谷部一江
群らがるが見ゆる

横中科学部が村教育委員会表彰



小林校長から表彰を受ける科学部

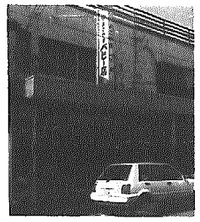
横越中学校科学部（部長　鈴木　剛）が、このほど村教育委員会表彰を受けました。

これは、二年間、同校科学部が、「雑巾のぬるぬるの研究」で昨年、県教育委員会表彰や新潟県科学教育振興委員会の主催者である読売新聞社から、それぞれ優秀賞を受賞したことによるものです。

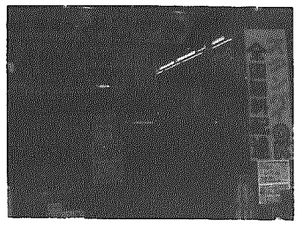
企業訪問シリーズ ①

お客様を大切にし良い商品を安く提供します

有限会社　横山寝具店



亀田のベビー店



寝具亀田店

布団は中味が勝負と語る横山社長

時代の流れに順応し一段一段階段を上っていく

〈創業は、昭和26年1月〉

横山さんは、代々農業でしたが耕作面積も少なく、まずは当座の生活を考えたそうです。

終戦後、シベリアに抑留され強制労働に強いられた当時を感慨すれば、どんな辛い仕事でも耐えられると思っていたところ、打綿業をすすめられ、綿打機械を東京まで買いに行ったそうです。

そして、新津の錦織布団で仕事を覚え、雪の中、開業する知らせの〝ビラ〟を掲示板に貼り歩いた当時を述懐してくれました。

ところで、戦後のため農業用脱穀、調整機と打綿機で一台のモーターを兼用していたので、仕事が変わる度、重いモーターを移動しなくてはならなく大変でした。

奥さんは、自転車で〝かさばる〟打直しの綿の集配や農作業で多忙の毎日でした。

当時は、敷布団は、わらを用いた布団が多かったが、昭和35年頃から段々と寝具に関心を持たれるようになり、寝具が中心になってきました。

〈昭和47年2月亀田に出店〉

昭和47年2月、亀田町に出店を契機に法人化（有限会社）にし、昭和49年6月には、同じ亀田町にベビー店もオープンした。

今は、亀田の本町通りの寝具専門店は、専務である長男に任せており、ベビー店については、専務の奥さんを中心に積極的に商売を取り組んでいる。

〈取り巻く状況〉

新潟市の商圏内にあり、大型店の攻勢の中、横越・亀田を中心にお客様に心をこめた商品をすすめてきたが、これからは、大変な時代と分析している。

このような中で、毎月の掛金で夢が拡がる便利な安眠友の会でお客様の拡大を図っている。

〈21世紀に向けて〉

柄とか見た目で販売している業者もいるが、横山寝具店は〝布団は中味で勝負〟と言いきる。

中味の良い悪いは、後で必ずわかるんです。

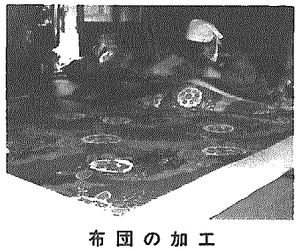
製綿、打綿は、下請けで委託しているが、綿打ちをやっていたため布団の中味に対しては、特に厳しい目を持っている。

布団の仕立は、手造りで現在も横越本店でしている。

ところで、今、お客様あっての横山寝具店という基本理念を再認識し、お客様を大事にして、社員と一体になり、仕入れ先の協力をえて、売上げを伸ばしていきたい。

最後に従業員に恵まれ、社内の和がとても良くて社員一丸となって、良い商品を安く提供できるよう頑張っている。

ベビー用品、いかがですか



布団の加工

■主な取引先

寝具類
- 西川産業株式会社
- ヨコヤマング株式会社
- 泰道株式会社
- 松本商店
- 赤玉本舗

ベビー用品
- フウセンウサギ株式会社
- 株式会社キムラタン

●会社の概要

設立　昭和26年1月操業
開始　昭和47年2月に法人（有限会社）に移行
資本金　当初300万から昭和55年に900万に増資
社員数　15名（横越在住12名）
業種　寝具・寝装品・ベビー用品・インテリア販売

●寝具・ベビー用品のご用名は、下記店舗まで
・横越店　TEL 385－2039
・亀田店　TEL 382－7131
・ベビー店　TEL 382－3356

●取扱商品
・婚礼布団、羽毛布団、ムアツ布団、パジャマ、打ち直し、ふとん仕立、ベット、カーテン、ギフト商品
・ベビーギフト、ベビー遊び着、新生児用品、ママコート、ベビー寝具、マタニティー

○村の老人福祉にも貢献

㈲横山寝具店が、村社会福祉協議会に座ぶとんを寄贈を始めたのが、昭和54年。

この座ぶとんは、社長が、自分で商売が続いている限り「地域に還元したい」と始めて、昨年で13回目。

毎年、敬老会で長寿者に座ぶとんを贈り、大変喜ばれている。